

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【公表番号】特表 2018-535978 (P2018-535978A)

【公表日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2018-525786 (P2018-525786)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/84 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/11 (2006.01)

C 1 1 B 9/00 (2006.01)

B 0 1 J 13/16 (2006.01)

C 1 1 D 3/50 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/84

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/11

C 1 1 B 9/00 Z

B 0 1 J 13/16

C 1 1 D 3/50

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 15 日 (2019.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マイクロカプセル組成物であって、マイクロカプセルのシェルが、シェルに共有結合した少なくとも 1 種の永久カチオン基を含有する少なくとも 1 種のポリウレアを含み、および、コアが、少なくとも 1 種の香料原料を含み、ここでマイクロカプセルのシェルがグアニジニウム基を含まない、前記マイクロカプセル組成物。

【請求項 2】

カチオン基が、窒素含有基およびリン含有基、好ましくは第四級アンモニウム基から選択される、請求項 1 に記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 3】

マイクロカプセルが、少なくとも 1 種の永久カチオン基を有する、以下から選択される少なくとも 1 種の重合形態の、 - 不飽和カルボニル化合物を含む、請求項 1 または 2 に記載のマイクロカプセル組成物：

- , - エチレン性不飽和モノおよびジカルボン酸とアミノアルコールとのエステル、
- , - エチレン性不飽和モノおよびジカルボン酸と、少なくとも 1 種の第一級または第二級アミノ基を有するジアミンとのアミド、
- N , N - ジアリルアミン、N , N - ジアリル - N - アルキルアミンおよびそれらの誘導体、
- ビニル - およびアリル - 置換窒素複素環およびそれらの混合物。

【請求項 4】

重合形態の α 、 β - 不飽和カルボニル化合物の量が、マイクロカプセルのカプセルシェルの総重量に基づき 1 ~ 50 重量%である、請求項 3 に記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 5】

マイクロカプセルが、2 ~ 90 μm の体積平均直径を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 6】

マイクロカプセルの総重量に基づき、マイクロカプセルのコアが 60 ~ 97 重量%であり、マイクロカプセルのシェルが 40 ~ 3 重量%である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 7】

水性分散液の形態である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 8】

マイクロカプセルが、6 ~ 100 mV のゼータ電位を有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 9】

マイクロカプセル組成物の調製方法であって、マイクロカプセルのシェルが、シェルに共有結合した少なくとも 1 種のカチオン基を含有する少なくとも 1 種のポリウレアを含み、およびコアが、少なくとも 1 種の香料原料を含み、以下のステップ：

- a) 少なくとも 1 種の保護コロイドを水溶液中に含む、プレミックス (I) を提供すること、
- b) 少なくとも 1 種のポリイソシアナートおよび少なくとも 1 種の香料原料を含有する親油性相を含む、プレミックス (II) を提供すること、
- c) プレミックス (I) とプレミックス (II) を、エマルジョン (III) が形成されるまで混合すること、
- d) 少なくとも 1 種の多官能性アミンを含有する水溶液 (IV) を、ステップ c) で形成されたエマルジョンに添加すること、
- e) ステップ d) で得た混合物を少なくとも 50 の温度に加熱することにより、マイクロカプセルの分散液を形成すること、および
- f) 少なくとも 1 種の永久カチオン基を有する少なくとも 1 種の α 、 β - 不飽和カルボニル化合物を、添加すること、を含む、前記方法。

【請求項 10】

g) ステップ f) で得たマイクロカプセルを、乾燥させること、をさらに含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

プレミックス (II) が、少なくとも 1 種の非イオン性ポリイソシアナート (A) および少なくとも 1 種のアニオン変性イソシアナート (B) を含み、ここで、アニオン変性イソシアナート (B) が、好ましくは少なくとも 1 つのスルホン酸基を分子中に含有する、請求項 9 または 10 に記載の方法。

【請求項 12】

イソシアナート (A) と (B) の重量比が、10 : 1 ~ 1 : 10、好ましくは 5 : 1 ~ 1 : 5、特に 3 : 1 ~ 1 : 1 である、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

多官能性アミンが、特に、少なくとも 1 種のポリエチレンイミンを含むか、またはこれからなる、請求項 9 ~ 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

請求項 9 ~ 13 のいずれか一項に記載の方法によって得られる、マイクロカプセル組成物。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 8 に記載のマイクロカプセル、または請求項 9 ~ 14 に記載の方法によって得たマイクロカプセルの、

- パーソナルケア組成物、エアケア組成物、ホームケア組成物またはランドリーケア組成物、
における、使用。